

県西ブロックエリアコーディネーター
矢部 則明(唐木整形外科)

2019年5月19日(日)にペット防災の啓発に取り組むNPO法人防災総合ペット育成協会(BSP協会)主催、小田原市橘北地区自治会連合会・神奈川県西地区リハビリテーション連絡協議会共催、小田原市・中井町後援による第2回「人とペットの防災フェスティバル」が、小田原市橘北地区の下中小学校で開催されました。

県西ブロック中心のスタッフ8名(うち学生ボランティア2名)にて災害対策ブース出展と車イス体験を担当しました。

午前中は熊本震災セミナー(講師 富士岡 剛氏)を開催、災害時のペット同行避難についてのお話をいただきました。午後は、小学校の校庭と保育園、体育館の3か所で行われ、体育館では福祉体験(車イス体験、高齢者疑似体験)や救命体験、災害対策ブースの展示を行いました。当ブースでは段ボールベッドや段ボールトイレ、災害対策に関する便利な小物の展示、生活不活発病や本会の災害対策に対する取り組み、小田原の土砂災害ハザードマップの展示、新聞紙スリッパや縄梯子作り体験、JRATや本会のパンフレット等の配布も行いました。車イス体験では、社会福祉協議会からの依頼で、PT2名と国際医療福祉大学の学生ボランティア2名の計4名にて資料準備、車イス指導を行っていただきました。防災フェスティバルの参加者人数は約1200名、ペットは約300頭(去年は約700名、ペットは約200頭)で去年よりも内容・実績ともにパワーアップしました。私たちのブースには昨年同様40組ほどの方が来られ、ボーイスカウト団体の子どもたちの参加もあり、60名ほどになりました。来年もさらに充実して継続していきたいと考えています。

